平成２６年度(第４８回)
中学生の「税についての作文」

★東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

荏原第五中学校　荻野　未友治　さん

★東京都品川都税事務所長賞

荏原第六中学校　田畑　和夏子　さん

★荏原納税貯蓄組合連合会会長賞

荏原第五中学校　草薙　咲和　さん
荏原第六中学校　塚原　　沙衣　さん

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会より全国の中学生のみなさんから「税についての作文」の募集が行われました。これは、将来を担う中学生の皆さんが、税について関心を持ち、正しい理解を深めていただくという趣旨で実施しているものです。本年度東京都内においては697校、77,401編の応募が寄せられました。

本誌では、受賞作品のうち代表して１作品をご紹介します。

「身近な税のカタチ」

荏原第五中学校
三年　荻野　未友治

僕の住む家は、商店街の通りにあります。祖父母がお弁当やお惣菜を販売しているその店の前には、駅から続く黄色い点字ブロックがあります。「視覚障害者誘導用ブロック」というその点字ブロックは、僕の家のすぐ近くにある「区立心身障害者福祉会館」の利用者のためであることを知りました。

心身が不自由な方が通うその施設は、僕の住む区が事業の一つとして運営しており、昭和五十二年に障害者福祉の向上と、障害者の自立と社会参加のための援助、障害者団体やボランティア団体の活動及び障害者に対する理解を深める拠点として開設されたそうです。平成十六年には他法人が指定管理を受け、半分は区、半分は民間が運営をしているそうです。施設では、障害のある方が簡単な作業、生活訓練や相談、また通所生による革製品の製作も行っており、一年に一度開催される「会館まつり」でも販売されています。会館は障害がある方たちが、生き生きと毎日過ごしている大切な場所なのです。

僕たちが生活していく上で必要なもの、例えば、交通整備のための信号や標識、住民が安全に快適に暮らすための設備と同じくらい点字ブロックはとても重要なものだと思いました。そして、そういった必要不可欠なものに国民の税金が使用されているということをあらためて知りました。また、僕の家族が支払う税金の一部が、身近な場所に使われているのだということが嬉しくもありました。なぜなら、僕の家のお店には会館を利用する目の不自由な方も立ち寄ってくれ、祖父母ととても楽しそうに話している光景を見かけたことがあり、その人達のために少しでも役立っているのなら、それは本当に素晴らしいことだと思ったからです。商店街のように人通りが多く、車道と歩道の境目が無い道路では、目や耳の不自由な方にはとても危険が多いと思います。点字ブロックが全ての道に設定できるようになれば良いなと思います。

そのためには、国民の一人一人がきちんと税金を支払い、本当に必要としている物や環境作りのために、有意義に使用してもらいたいと強く願います。

第15回品川区中学生の主張大会

平成26年12月13日きゅりあん小ホールにて開催された本大会は、中学生の日頃の考えを発表することで自立心・社会性を育てるとともに地域の方の中学生への理解を深めることを目的とし、平成12年から毎年開催しているものです。

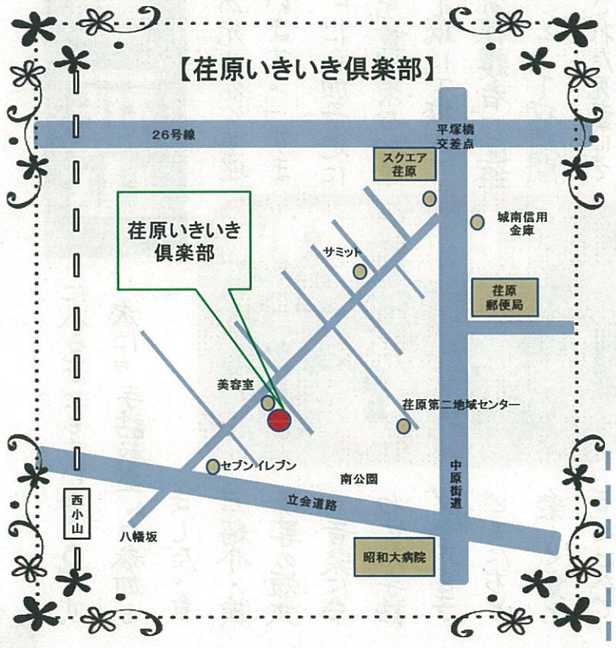
奨励賞

荏原第五中学校
牧野　里咲　さん
荏原第六中学校
太田　晴野　さん

フリースペース
「よりみち」

☆買物帰りに、通院帰りにちょっとよりみち
★自由に、いつでも行ける場所
☆おしゃべりしたり、お茶を飲んだり気軽に行ける場所
★ちょっとした悩み、相談ごとにも応じます
☆老若男女、誰でもいつでも入れる憩いの場
★誰かに話を聞いてほしいときも気軽に…
♡会場ではボランティアさんがお茶を入れてまっています。

開催日時：毎月　第２・４金曜日　１３:３０～１５:３０
場　　所：荏原いきいき倶楽部　**1階**（品川区荏原６－２－８）
参 加 費 ：**無料**（当日お気軽に会場へお越しください♪）



【問合せ先】**支え愛・ほっとステーション**
荏原第二地域センター内（品川区荏原6-17-12）
６４２６－４１１０